

Title	言語文化学 Vol.13 学会の活動/会則
Author(s)	
Citation	大阪大学言語文化学. 13 p.198-p.201
Issue Date	2004-03-31
oaire:version	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/77940">https://hdl.handle.net/11094/77940</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

## 学会の活動

平成 15 年 6 月 28 日 大阪大学言語文化学会第 24 回大会

### <研究発表会>

鍋島弘治朗：「理解」のメタファー ―認知言語学的視点から―

王 愛静：日中における字（あざな）の一考察

―字の性質と表現形式を中心に―

松尾 慎：インドネシア「日系人」の言語生活

―インドネシア人男性と結婚して在住している女性の場合―

洪 心怡：台湾の日本語学習者における母音無声化

―連続無声化環境の場合―

### <総会>

活動報告

委員改選

新委員：

春木 仁孝（委員長）、木原 善彦、坂内 千里、ヨコタ村上孝之、

我田 広之、伊賀上菜穂、中道 静香、松尾 慎、後藤 一章、

田村 知佳、松尾有希子、松本 敬子、羅 曉勤

会計報告（次頁のとおり）

平成 15 年 10 月 30 日 大阪大学言語文化学会第 25 回大会

### <研究発表会>

ディボフスキー・アレクサンドル：「国際化」と日本の社会学

―「国際社会学」の現象をめぐって―

伊賀上菜穂：過去と現在を結ぶ

―ポスト社会主義時代におけるロシア旧教徒のアイデンティティ化―

一瀬 陽子：津田左右吉と「史」の思想

岩男 考哲：発話「～ッテ。」とその周辺

中道 静香：現代アラビア語諸方言における「総称」と「状態」のカテ

ゴリー化 ―形態と結びつく時間性をめぐって―

平成 16 年 3 月 31 日『言語文化学 第 13 号』発行

<査読者>

井元 秀剛、岩根 久、植田 晃次、大村 敬一、大森 文子、  
岡田 伸夫、沖田 知子、金崎 春幸、金子 元臣、北村 卓、  
木村 茂雄、小門 典夫、小杉 世、坂内 千里、佐藤 彰、  
仙葉 豊、高岡 幸一、津久井定雄、津田 葵、ナイトン・  
メアリー、中 直一、中埜 芳之、西口 光一、浜田 麻里、  
春木 仁孝、日野 信行、広瀬 雅弘、深澤 一幸、水野 博子、  
三藤 博、三牧 陽子、村岡 貴子、山下 仁、山本 佳樹、  
ヨコタ村上ジェリー、ヨコタ村上孝之、我田 広之、渡邊 伸治

《平成 14 年度 言語文化学会 会計報告》

(単位：円)

収 入		支 出	
予備費（前年度繰越金）	848,889	懇親会費	3,966
学会費・賛助金	1,017,000	通信費	76,598
利子・利息	163	消耗品費	15,023
『言語文化学』売上	3,000	予備費（次年度繰越金）	1,799,865
その他	42,400		
計	1,911,452	計	1,911,452

平成14年度会計担当委員 伊賀上菜穂

会計監査（平成15年5月28日） 小杉 世

岩男 考哲

## 大阪大学言語文化学会会則

- 第1条 本会は大阪大学言語文化学会と称する。
- 第2条 本会の会員は次の2種とする。
1. 通常会員：大阪大学言語文化研究科及び言語文化部の教官、大学院院生、大学院修了者で所定の会費を納めたもの。
  2. 特別会員：元教官及び本会にとくに貢献したもの。
- 第3条 本会は会員の学術研究を促進するとともに、研究成果の普及をはかり、広く学術全般の進展に寄与することを目的とする。
- 第4条 本会は前条の目的を達するために研究会を開催し、機関誌を発行する。
- 第5条 本会の会員は機関誌の配布を受ける。
- 第6条 本会は第3条の目的を達するために年1回、言語文化学会総会を開催する。
- 第7条 本会に次の役員をおく。
1. 会長及び委員、監事をおく。
  2. 会長を言語文化研究科長、副会長を言語文化部長とする。
  3. 委員は原則として教官より5名、大学院院生より5名を選出する。なお別に事務担当をおくことができる。
  4. 監事は2名とし、会計の監査にあたる。監事は会長が委嘱する。
- 第8条 本会に委員会をおく。
1. 委員会は前条3の委員をもって構成する。
  2. 委員会に委員の互選による委員長、企画・編集委員（若干名）、会計委員（若干名）をおく。
  3. 委員会は本会の運営にあたる。
- 第9条 役員の任期は次の通りとする。
1. 会長及び副会長の任期は言語文化研究科長及び言語文化部長の任期に従う。
  2. 委員の任期は1年とする。
  3. 監事の任期は1年とする。
- 第10条 本会の経費は会員の会費及びその他の収入による。
1. 会費は付則に定めるところによる。

2. 本会の会計年度は毎年4月より翌年3月までとする。

第11条 本会の事務局は大阪大学言語文化研究科内におく。

付則

1. 通常会員は会費として年間3000円を納める。

2. この会則の改正は、総会において出席者の3分の2以上の賛同を必要とする。

3. 本会則は平成3年5月8日より発効する。